

磐田市の**予算と事業**

☎財政課 ☎0538-37-4833 FAX 0538-37-4876

予算とは、1年間の収入と支出をあらかじめ見積もることです。4月から始まる新年度を前に市議会で議決し決められています。年度内で行われる事業は、この予算に沿って執行されていきます。これから磐田市が何を目指し、どのようなことが行われていくのか、今年度予算を主な事業とともに紹介します。

市の**予算総額****1,331億9,872万円**

前年度比：7.1%

一般会計**当初予算****666億3,000万円**

前年度比：5.4%

一般**会計**

福祉や教育、道路整備など特に生活に関係の深い基本的な事業の会計。ながふじ学園一体校の建設工事への着手や、こども園・小規模保育所の施設整備への補助などの取り組みを実施することから、昨年度に引き続き合併後最大の予算規模になっています。

企業**会計****346億5,560万円**

前年度比：45.0%

利用料金などの収益で運営している会計。市には水道事業会計、病院事業会計と今年度から企業会計化された下水道事業会計の3つがあります。

特別**会計****319億1,312万円**

前年度比：14.3%

国民健康保険税など、特定の収入で運営する事業で、収支を明確にするため、一般会計と分けている会計。市には8つの特別会計があります。

※各会計予算は市役所本庁舎および各支所の市政情報コーナー、各市立図書館、ひと・ほんの庭 にこっとで閲覧することができます

基本目標

より暮らしやすい磐田市へ！ 市民第一で、さらに挑戦する磐田

市政の目指す姿



総合ナンバーワンを 目指したまちづくり

生活に密着した取り組みを進め、全体のバランスの取れた「総合ナンバーワンのまち」を目指します！

持続可能な行財政基盤の確立

人口減少による税収減や国の財政支援縮小にも対応できる体制・組織、財政の仕組みを構築します！



将来を見据えた 成長・発展の基盤づくり

成長戦略、将来の発展につながる取り組みを着実に実施します！

まちづくりは
人づくり、地域づくり

磐田市では、まちづくりは「人づくり」「地域づくり」であることを基本に、地域の思いや市民生活を第一に考えています。また、市民の生活に密着した取り組みを進めることで、福祉や医療、子育て、教育などがバランスよく発展した「総合ナンバーワンのまち」を目指していきます。

平成が終わり
新しい時代に向けて

新元号が「令和」に決まり、新たな時代がいよいよ幕を開けます。平成はバブルの崩壊に始まり、幾多の自然災害や百年に一度と言われた世界同時不況があり、市の財政も大きな影響を受けました。そんな状況下でも磐田市は優先順位を付けながらさまざまな事業を実施してきました。これからも市の個性を生かしながら、市民や企業に選ばれ、郷土に誇りを持ち新時代に希望が持てるような市を目指して施策を進めていきます。

市民生活の安全・安心の確保

1 大規模停電対策の推進 8,205 万円

昨年の台風 24 号により発生した大規模停電での対応や課題に対する検証に基づき、指定避難所への非常用電源装置の整備などの対策を実施します。

2 水害・土砂災害ハザードマップの作成 385 万円

昨年の西日本豪雨を受け、よりわかりやすい水害・土砂災害のハザードマップを作成します。

3 海岸堤防の整備推進 6 億 2,537 万円

第 4 次地震被害想定レベル 2 の津波に対応する海岸堤防の整備を引き続き推進します。

4 橋梁^{きょうりょう}の補修・長寿命化の推進 2 億 3,975 万円

老朽化した橋梁の延命化を図るため、順次修繕・改修を実施します。



海岸堤防の整備

地域づくりの推進と福祉の充実

1 (仮称) 磐田市文化会館の建設工事に着手 3 億 2,768 万円

2022 年 4 月開館に向け建設工事を進めます。

2 ラグビーワールドカップ公認チームキャンプ地への対応 493 万円

オーストラリア・アイルランド・ロシアチームの公認チームキャンプ地として練習会場の運営・警備などを行います。

3 地域包括支援センターの機能強化 1 億 4,868 万円

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、医療・介護・生活支援サービスを提供する地域包括ケアシステムの充実を図ります。

4 障害者相談支援センターの増設 2,720 万円

複雑化・複合化する障がい者相談に対応するため、南部地域に障害者相談支援センターを新たに設置し、相談支援体制を強化します。



(仮称) 磐田市文化会館
イメージ

産業の育成と都市基盤の整備

1 JR^{みくりや}御厨駅の設置推進 29 億 5,568 万円

2020 年 3 月の開業に向け、駅舎・自由通路の内装工事、ホーム舗装工事などを実施します。

2 今之浦市有地等の整備に向け基本・実施設計の実施 7,334 万円

新たな交流、にぎわいづくりの拠点として、整備に向けた基本・実施設計を行います。

3 新東名磐田スマート IC の設置推進 4 億 1,665 万円

2020年9月の供用開始に向け、高速道路との連結工事などを行います。

4 事業承継への支援 43 万円

中小企業などの持続的発展と雇用維持のため、関係機関と連携し、支援を行います。



JR 御厨駅工事の様子

4つの優先施策

子育て支援・教育の充実

妊娠から出産、子育てまで継続した子育て支援の充実を図るとともに、家庭や地域と連携して、子どもたちを守り育てるための教育施策を推進します。

市民生活の安全・安心の確保

自助・共助・公助の考え方のもと、防災・減災対策、消防・救急体制の充実や防犯・交通安全対策を進めます。

地域づくりの推進と福祉の充実

交流センターを拠点とした地域づくり、住み慣れた地域で健康に安心して暮らせるように、福祉サービスや地域医療体制の充実を図ります。

産業の育成と都市基盤の整備

既存産業の活性・新産業の創出などにより雇用を確保するとともに、道路・公共交通などのネットワーク整備を進めます。

子育て支援・教育の充実

1 ながふじ学府一体校の建設工事に着手 31億4,502万円

2021年4月開校に向け建設工事を進めます。

2 こども・若者相談センターの開設 69万円

あいプラザ内に相談員を配置した「こども・若者相談センター」を開設し、相談対応や助言などの支援を行います。

3 産婦健診・産後ケアの導入 766万円

産後うつや新生児への虐待を予防するため、産婦健診や産後ケアを実施し出産直後の母子への支援体制を強化します。

4 こども園などの施設整備への補助 7億6,880万円

こども園や小規模保育所の新設などに係る施設整備費を補助します。

5 子どものトイレ環境の改善 6,227万円

幼稚園、保育園、こども園、小学校および中学校に暖房便座を設置し、トイレ環境の改善を図ります。

6 磐田版「みんなで朝ごはん」研究事業の実施 110万円

健康的な生活リズムや食習慣を確立し、地域の将来を担う人材を地域全体で育むことを目的に、「みんなで朝ごはん事業」の研究に着手します。



ながふじ学府一体校
イメージ



こども・若者相談センター